

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 R 8年2月21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		今後も活動内容に応じたレイアウトの見直しを行い、よりゆとりある空間づくりを検討したい。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0		繁忙期や個別支援が重なる時間帯の体制強化を検討したい。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	宿題の時にパーテーションを使用し、空間を分けている。	環境の構造化について、より視覚的に分かりやすい工夫を追加し、子どもが主体的に動きやすい環境づくりを進めたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	衛生管理には特に注意しています（殺菌衛生面 感染症対策）	季節や活動内容に応じた環境調整を行い、より快適に過ごせる空間づくりを継続したい。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じてパーテーションを使用し、空間を分けている。	個別スペースの活用基準を明確化し、必要な場面でより柔軟に使用できる体制を整えたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0		全職員が意見を出しやすい仕組みづくりを進め、振り返りの質を高めていきたい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	昨年より不定期だが家族へ通信を作成し、保護者へ伝えている。	通信の発行頻度や内容をさらに工夫し、保護者の意向をより的確に把握できる仕組みを整えていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	現場の職員の意見を優先し業務改善に努めている	意見を共有する場を定期化し、改善内容を全職員で共有できる仕組みを強化したい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8	外部評価は行っていないが、日々の支援の中で気持ちなど職員同士で話し合い業務改善につなげている。	外部評価の導入を検討し、第三者の視点を取り入れた改善につなげていきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		研修内容の共有方法を工夫し、全職員が学びを実践に活かせる体制を整えたい。
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	面談時に行っている。	今まで以上に全職員が支援プログラムを理解し実践できるようにしていきたい。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	半年に一回の支援目標を設定している。	より細やかな日々の記録の積み重ねで適切な分析をしていきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		計画作成時の情報共有をより丁寧に行い、全職員が同じ方向性で支援できるよう強化したい。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		今まで以上に全職員が支援プログラムを理解し実践できるようにしていきたい。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		標準化ツールの活用頻度を増やし、より客観的な評価につなげたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		地域支援・連携の面が弱いので強化していくたい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		職員全員が企画に参加できる時間を確保し、より多様なアイデアを取り入れたい。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	様々なレクリエーションを経験できるよう、計画を組んでいる。	季節や子どもの興味に応じた新しい活動をさらに取り入れ、プログラムの幅を広げていきたい。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		個別目標に基づいた支援は行っているが、集団・個別活動を組み合わせた支援は行えていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼時に一日の流れの確認や、注意点などの情報共有を行っている。	支援内容の共有をより具体的に行い、役割分担が明確になるよう打合せの質を高めてていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	6	業務終了時間が社員・アルバイト・パート異なる為、その日中には行われていないが、その都度情報共有はしている。	振り返り内容を記録として残す仕組みを整え、全職員が翌日以降も共有しやすい体制をつくりたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎日記録を個別にデータ化している	記録の書式や内容を統一し、支援の検証や改善につながる情報整理をさらに充実させたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		モニタリング内容をより具体化し、計画の改善につながる記録方法を整えたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0		活動の偏りがないよう、年間計画の中でバランスを確認ていきたい。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	プログラムの強制はしないように配慮している	選択肢の提示方法をさらに工夫し、子どもが自分で選びやすい環境づくりを進めてていきたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	担当職員が参加している	より多くの職員が参加できるよう、情報共有体制を整えたい。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	学校、提携事業所などと情報共有をして連携を行っている。	連携内容の記録方法を統一し、情報の抜け漏れを防ぎたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校、提携事業所などと情報共有をして連携を行っている。	学校との連絡手段を整理し、よりスムーズな情報共有を図りたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	同事業所の児童発達と連携している	引継ぎ内容を標準化し、支援の継続性を高めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	過去数名しかいないが行っている	移行支援の流れを明確化し、保護者への説明機会を増やしたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		研修を今後は職員だけでなくパート従業員も参加の機会を作りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	5		感染の心配もありまだ実現できていない。事業所が増えているため情報共有をしっかりとしていくたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0		参加した内容を職員全体に共有し、事業所の改善に活かしたい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		家庭との連携をより密にし、課題の早期発見につなげたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		半年に一度の面談時に相談内容によって助言する事はあるが、計画的なプログラムはない。家族から必要性が求められれば開催したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		制度変更時の説明をより分かりやすく整理し、理解しやすい資料づくりを進めたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		面談以外でも意向を確認できる仕組みを検討したい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		説明の際に視覚的資料を活用し、より理解しやすい説明方法を工夫したい。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		相談内容の記録を統一し、支援につながる情報整理を強化したい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0		場所・時間等の課題がある。参加しやすい方法（オンライン等）も含めて検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		苦情受付の方法を明確化し、保護者に周知する機会を増やしたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		発信頻度を安定させ、内容の充実を図りたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		職員研修を定期的に行い、取り扱いルールの徹底を図りたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		保護者の状況に応じた伝え方をさらに工夫したい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		場所・駐車スペース・プライバシー・セキュリティの面で地域交流が難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		マニュアル内容を定期的に見直し、職員への周知方法を改善したい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	非常災害に備えた訓練を定期的に行っている。	訓練内容の振り返りを行い、改善点を次回に反映したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		情報更新のタイミングを明確化し、漏れのない管理体制を整えたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	説明を受けたり、掲示されてたりと情報共有されている。	アレルギー情報の更新を定期的に確認し、職員全員が確實に把握できるよう、共有方法をさらに徹底していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		研修内容の実践度を確認し、必要に応じて追加研修を検討したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	定期的な面談時に、保護者へ説明している。	安全計画の内容をより分かりやすく伝えるため、面談以外の場でも情報共有の機会を増やしていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	定期的に研修を実施して情報共有をしている。	ヒヤリハットの分析方法を統一し、再発防止策をより具体的に現場へ反映できる仕組みを強化したい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		研修の振り返りを行い、現場での実践につながる仕組みを強化したい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	該当者がいないですが記載しています	該当者がいないですが記載しています